



事例7 インターネットへの悪ふざけの書き込み

栄子さんは人気のある SNS をよく利用していて、利用者同士で情報交換などを楽しんでいました。最近同じ SNS を、クラスメートのよし子さんも利用するようになりました。

ある日、よし子さんは、栄子さんがカレ氏を欲しいという噂を聞いていたので、ちょっとしたイタズラのつもりで SNS に「栄子さんはカレ氏を大募集しているですよ～」と書き込みをしました。それ以降、この SNS 上で栄子さんに対する男性の書き込みが殺到してしまいました。

この事例の問題点は……？

■ グループワークで考えてみましょう！

- SNS にイタズラの書き込みをすることについてどう思いますか？
- 子供が SNS でトラブルに巻き込まれたら、どのように対応しますか？
- SNS に書き込まない方がよいのはどんなことですか？

■ 親子で話し合うつもりで考えてみましょう！

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子：栄子さんはカレ氏が欲しいみたいだし、友だちが増えていいんじゃない？

親：

質問例②

子：いたずらで書き込みをしても、誰かに消してもらえば問題ないんじゃない？

親：

この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。

■ 実際に「ルール」を作ってみましょう！

子供が宣言したルールを守れていれば「○」、守れていないときには「×」をつけましょう。

私の宣言書（子供に宣言させましょう）	1 週間後	2 週間後	
子供の宣言文：私は、インターネット上では、相手の立場を考えて書き込みをします。 約束を守れなかったら、1週間、インターネットにはアクセスしません。			
子供の宣言文：私は、インターネット上で、嫌なことや迷惑なことを書き込まれたら、親や先生に相談します。 約束を守れなかったら、			
子供の宣言文：私は、インターネット上で、個人を集団でいじめるようなことには加わりません。 約束を守れなかったら、			